

## プログラム詳細

本カンファレンスでは、インクルージョン、ダイバーシティ等の国際的な共通課題をテーマに、「国際会議」、「ショーケース」、「ネットワーキング」、「短期集中キャンプ」の4つのプログラムを実施します。

「国際会議」のみならず、4つのプログラムで構成する総合国際カンファレンスはアジア初です。

世代や性別、国籍、障害の有無等を越えて、あらゆる人々を文化の力でつなぎ、東京の共生社会の実現に向け、東京から世界に強力なメッセージを発信していきます。

### ① 国際会議 [開会式／基調講演、本会議、分科会]

【日程】7月2日（土）～7月4日（月）

【会場】東京国立博物館 平成館大講堂、東京都美術館 アートスタディールーム

芸術文化による共生社会実現に向け、「ウェルビーイング」「ダイバーシティ」「インクルーシブ・デザイン」「アクセシビリティ」「つながり・居場所づくり」の5つのテーマを議論する国際会議です。基調講演・本会議・分科会にて全12セッションを開催します。多様な地域・分野から、政策立案者や研究者、実務家、クリエイター等を迎え、芸術文化による社会包摂の先進的な取組を共有し、東京から世界に発信します。

#### ≪基調講演 登壇者≫

ジャスティーン・サイモンズ（ロンドン市副市長（文化・クリエイティブ産業担当））

大杉 豊（筑波技術大学障害者高等教育研究支援センター教授）

松田 崇弥（ヘラルポニー代表取締役社長）



ジャスティーン・サイモンズ

※ 観覧をご希望される方は公式ホームページから事前申込が必要です。

6月1日（水）から申込受付を開始します。

<https://creativewell.rekibun.or.jp/conference/>

※ 開会式／基調講演、本会議はオンラインからもご覧いただけます。



### ② ショーケース

[オープニング・パフォーマンス]

【日程】7月2日（土）

【会場】上野恩賜公園竹の台広場（噴水広場）

開会式当日にオープニング・パフォーマンスを開催します。

2019年に東京芸術劇場にて誕生した、障害の有無に関わらず、多様な人たちがその個性を生かし、一緒に新しい作品を創造・発表するインクルーシブダンス活動「東京のはら表現部」とクリエイターがコラボレーションし、観客を巻き込んだパフォーマンスを繰り広げます。



東京のはら表現部の公演の様子  
撮影：中澤佑介

[展覧会]

【日程】7月3日（日）～7月7日（木）

【会場】東京都美術館 ロビー階第1展示室

音を振動に変換し体感できる作品などの展示、大学や民間企業で研究が進む分身ロボットの実演等を行います。また、インドネシアにおける格差社会の是正に取り組むアートプロジェクト、台湾における社会的処方取組など、芸術文化による社会包摂の取組を紹介します。

### ③ ネットワーキング

【日程】 7月3日（日）～7月7日（木）

【会場】 東京都美術館 ロビー階第2展示室、スタジオ（交流棟2階）

参加都市の芸術文化団体やNPO等がホストとなり、プレゼンテーションやミーティングを実施するネットワーキングプログラムを開催します。国内外の芸術文化団体、医療・社会福祉団体、NPO、クリエイターなどが出会い、実践のノウハウや知見を交換し、次なる協働へと続く場を提供します。



### ④ 短期集中キャンプ「共鳴する身体」(5日間連続ワークショップ)

【日程】 6月28日（火）～7月2日（土）

【会場】 LIFULL Fab（東京都千代田区）

障害の有無・年齢・国籍等に関わらず、多様な人々が集い、創作活動を通じた交流と協働を行う連続ワークショップを開催します。先進的な活動をするクリエイターや研究者を講師に、レクチャーやグループワーク、プロトタイプ開発などを通じ、障害の有無に関わらず楽しめる楽器をDIYで制作するとともに、芸術文化の新しい楽しみ方を提案します。



撮影：佐藤基

プログラムディレクター：

金箱淳一（神戸芸術工科大学准教授、楽器インタフェース研究者）

中西宣人（フェリス学院大学准教授、株式会社 A-KAK 取締役、楽器デザイナー、サウンドデザイナー）

アンドレアス・シアギャン（アーティスト／エンジニア） [インドネシア]

### ■今後の予定

令和4年6月中旬にラインナップの最終発表（予定）

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況等によって、登壇者やプログラム内容は予定なく変更になる場合があります。